

角膜移植後の退院パンフレットの再検討

1-8西

○石橋扶美 板垣智恵子 正木晴美 原田京子 高津美鈴

I. はじめに

角膜移植術は角膜疾患による視力障害を改善する上で極めて有効な手段である。当科ではここ10年間に約500例の角膜移植が行われている。角膜移植術を受け、退院が近づくと「せっかく回復した視機能を再び失ったらどうしよう。」「善意でいただいた角膜をどうしたら守ることが出来るのか。」と言う不安が強くなる。しかし現在使用している退院パンフレットは主に医師の指示である退院後の外来受診日や継続点眼を患者に伝える内容となっており、角膜移植医療の進歩により日常生活の注意点も患者の日常生活に即したものでなくなってきた。改良が必要と考えた。そこで患者の日常生活に即した、患者の疑問点や不安の軽減につながるパンフレットにするために、角膜移植患者の不安や疑問点・看護師が患者によく質問される事・角膜移植後の患者に必要な知識を明らかにするため、1-8西の看護師にアンケート調査を行い、その結果をもとに退院パンフレットを改良したので報告する。

II. 研究方法

1. 研究期間：平成15年4月～平成15年8月
2. 対象：1-8西の看護師18名
3. 方法：1) 現在のパンフレットの問題点について独自の質問用紙を元に1-8西の看護師18名にアンケート調査した。
2) アンケート結果を元に問題点を抽出しパンフレットを改良した

III. 結果

改良前のアンケートの回収率・有効回答率共に100%であった。

「退院パンフレットは使い易いですか」に対し「はい」7人(38%)、「いいえ」11人(61%)で、その理由は患者の日常生活に関連する具体例の記載がない、点眼の必要性が記載されていない、運動制限とはどの程度であるか記載されていない、格闘技やダイビングをしている患者は殆どいない、退院が決定し医師が点眼薬剤や受診日を記載しないとパンフレットが渡せない等であった。

「改良前のパンフレットは患者の退院後の生活に適していると思いますか」に対し「はい」4人(22%)「いいえ」14人(77%)で、その理由は患者の生活の身近な具体例がない、格闘技やダイビングをしている人は殆どいない等であった。

「改良前のパンフレットで退院指導施行時患者に聞かれて困ったことはありますか」に対し「はい」6人(33%)「いいえ」12人(66%)で、その理由はカラーリング・パーマの時期、運動制限とはどの程度なのか等であった。

「今後パンフレットに加えて欲しいことがあれば記入してください」と言うフリーコメント欄に眼にごみが入ったときの対処法、日常生活での留意点、挿絵を入れるとよい、点眼継続の必要性、拒絶反応の症状、定期受診の必要性などが記載してあった。

IV. 考察

現在の退院パンフレットは9年前に作成されている。従って、角膜移植医療の進歩と指導内容にずれが生じているため看護師も使いにくいと感じている。角膜移植を行う為には視力障害に対する角膜疾患の関連度の判定が必要であり視力の改善度・免疫反応の問題などもあり手術適応の判定は必ずしも容易ではないと言われている事から、数ヶ月から数年角膜移植を待っている患者も少なくない。下沢¹⁾は「生活指導を行う上で重要な事は、患者の興味・関心をひき自己管理が行えるように動機付けを行うことである。」また澤田²⁾らは「指導にあたっては個人の生活習慣や価値観をふまえて、日常生活の中で無理なく実施できるように具体的な指導を行う事が重要である。」と述べている。そこで、まずドナーや遺族の善意の角膜提供から成り立っている事を述べることにより治療の特殊性の理解が得られ、感謝の気持ちが生まれてくると考える。また、移植医療において拒絶反応を避けることは不可能に近く、医師から角膜移植後に拒絶反応が出現した場合その兆候を早期に発見し、早期に治療することが最も重要であるとの意見があった。そこで「拒絶反応の症状、チェックポイント、毎日出来る自己チェックの方法」「点眼継続の必要性」「定期受診の必要性」を述べることにより、患者は治療の継続や角膜保護に対する動機付けができ、拒絶反応の早期発見に対する知識を得ることができる。

次に興味・関心をひくまたは日常生活に密着した項目として看護師が患者からよく質問されると答えている「カラーリング・パーマの時期」「眼にごみが入った時の留意点」「温泉など入浴時の留意点」「登山・散歩・畑仕事をされる方は・・・」「ペットを飼われている方・小さな子供さんがおられる方は・・・」などの項目を追加した。更に何故そうするのか、何故してはいけないのか、その根拠を簡単に説明した。そのことで患者や家族・看護師にとっても解り易く、具体的な指導を効果的に行う事が出来ると考える。また、医師の指示と看護師の指導を別にすることで、手術後早期より退院指導が可能となった。その結果患者はパンフレットを参考にして、医師や看護師に質問する時間的余裕ができ、看護師も個々の生活を考えながらより個別性のある退院指導が出来ると考える。

V. まとめ

1. 角膜移植後の退院パンフレットについて問題点を明らかにする為に独自の質問用紙を用いて看護師にアンケート調査をした。
2. アンケートの結果を考慮した上で角膜移植後の患者に必要な知識と日常生活に密着した指導項目を加えた退院パンフレットを作成した。
3. 退院時の医師の指示と看護師の指導を別にすることで、手術後早期より退院指導が可能となった。
4. 今後、退院パンフレットを使用し、患者の個々の生活を考えた個別性のある退院指導を実施していきたい。

引用・参考文献

- 1) 下沢まつ江：白内障手術患者の自己点眼へのアプローチ 第20回日本看護学会（成人看護I）P24 1989
- 2) 澤田恵美子：白内障手術を受けた患者の退院指導の評価. 第26回日本看護学会収録（老人看護 P124～127 1995
- 3) 小出良平：眼科エキスパートナーシング 南江堂 2002
- 4) 坂田直美：患者教育の進め方 臨床看護 第14巻9号 P1353 1988
- 5) 澤充：コンパクト眼科学11 角膜・結膜疾患 金原出版株式会社 1996
- 6) 田野保雄：眼科診療プラク Vol.3 No.10 文光堂 2000
- 7) 本田孔士：眼科診療プラクティス42号 P90～93 文光堂 東京都1999

様

山口大学附属病院 眼科病棟 電話0836-22-2558

次回受診日 () 予約時間 ()
点眼 診察医 ()

内服

角膜移植の術後

運動制限があります。以下の様な角膜に刺激のある事は避けましょう。

格闘技やダイビングのスポーツ

その他の日常生活

髪を洗ったり顔を洗ったりする時は眼に水が入らない様にしましょう。

以下の様な事が起こったらすぐに受診しましょう！

- (1) 急に眼が霞んできた
- (2) 眩しが増し、涙が多くなってきた
- (3) 眼の充血が強くなってきた

眼科外来 0836-22-2518

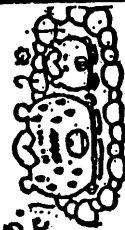
角膜移植を受けた患者様へ

山口大学医学部附属病院
1 科棟 8 階 眼科病棟

日常生活の中で
登山・散歩・畑仕事をされる方は・・・
木の枝や虫、土や砂が入るのを防ぐためサングラスやサングラスやサングラスを使用しましょう。

*お風呂（温泉）に入る時は・・・

・お船のお湯で顔や髪は洗わないようにしましょう。
・放置してあるシャワーで洗ってはいけません。



*ペットを飼われている方、小さな子供さんが抱かれる方は・・・
・ペットに飛びかかれたり子供に急に抱かれたりして角膜に傷が付かない様に注意しましょう。

(9)

<角膜移植後注意を付ける事>

角膜移植アイバンクからの贈る角膜により戻り立っています。大切にしましょう。
角膜は目の表面の透明な膜です。以下のことに注意し、傷は出ないようにして下さい。

*点眼薬の必要性

- ・次回受診日まで医師より指示された点眼薬を指示された時間に行いましょう。
- ・点眼前はよく手を洗い、目薬の先が眼にあたらぬ様にしましょう。
- ・点眼薬は開封後1ヶ月で新しいものと取り替えてください。
- ・点眼後、眼をこすったり押しつたりしないように注意しましょう。



(1)

*拒絶反応の症状

1日1回出来れば朝に前日と見え方など変化していないか自分で確認しましょう。

- ①急に眼が痛む。
 - ②視力低下
 - ③眩しさが増し、涙が多くなる。
 - ④目の充血が強くなる。
 - ⑤眼痛
- これらの症状が出現したら速やかに眼科医に相談して下さい。



*角膜移植の重要性

- ・拒絶反応・感染・眼内症の早期発見につながります。

*眼にごみが入ったら・・・

- ・洗水でしっかり洗い流し、こすらない様にしましょう。
- (井戸水は使用不可。)

(2)

*バイタに塗る方は必ず眼を保護できるヘルメットを着用しましょう。

*軟弱業・溶接業をされる方は必ず専用の眼鏡を着用しましょう。

*カラリーリング・パーマは・・・

・カラリーリング剤などは眼薬し目に刺激を与えますので外来受診した日に医師に相談後許可が得られればおこなえます。



外来 (平日)

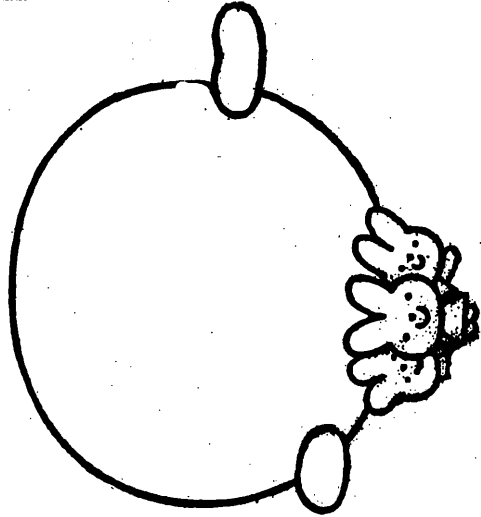
0336-22-2516

病棟 (夜間・休日)

0336-22-2556

(3)

退院後の自分の生活を考え医師や看護師に聞いておきたい事を記入して退院までに解決しましょう。



現在使用している角膜移植後の退院パンフレットについて皆様に質問させていただきますので、ご協力をお願いします。

質問：1. 現在の退院パンフレットは説明し易いですか。

YES

NO

質問：2. 1でNOと答えた方はその理由を記入してください。

質問：3. 現在の退院パンフレットは患者様の退院後の生活に適していると思いますか。

YES

NO

質問：4. 3でNOと答えた方はその理由を記入して下さい。

質問：5. 現在のパンフレットでオリ施行時患者様に聞かれて困ったことはありますか。

YES

NO

質問：6. 5でYESと答えた方はその理由を記入して下さい。

質問：7. 現在のパンフレットの文字の大きさはどうですか。

質問：8. 今後パンフレットで不要と思われる事があれば記入して下さい。

質問：9. 今後パンフレットに加えて欲しい事があれば記入して下さい。